

# 中南米日系農業者連携交流委託事業[拡充]

【50(41)百万円】

## 対策のポイント

中南米4カ国の日系農業者団体の連携強化や日系農業関係者のリーダー育成のための技術交流を重点的に実施することにより、日本との間で構築されてきた農業交流関係の維持・発展を図ります。

## <背景/課題>

- ・日本と中南米諸国との間には、日系農業者の移住の歴史を通じて、農業交流関係が構築されており、今後とも維持・発展を図っていく必要があります。
- ・中南米諸国では、戦後移住した多くの日系農業者の世代交代が進み、地域農業をリードする優秀な二世・三世の経営者も生まれており、日本の農業・食産業分野における先進的な6次産業化やフードバリューチェーンに関する取組などへの関心が高まっています。

## 政策目標

- 日本と中南米4カ国との間の農業交流関係の維持・発展を牽引することが期待される人材の確保
- 研修修了者が研修終了後5年以内に日系農業関係者のリーダーとなる、または我が国の農業・食産業等に関わる割合8割以上

## <主な内容>

### 1. 日系農業者団体の連携強化

7(7)百万円

中南米4カ国(ブラジル、パラグアイ、ボリビア及びアルゼンチン)の日系農業者団体が一堂に会する会議を開催し、各国の日系農業者や日系農業者団体が抱える課題の解決に向けた情報の交換・共有を図り、これらの組織間の連携を強化します。

### 2. 日系農業関係者の交流・技術研修の実施

43(33)百万円

#### (1) 日系農業関係者の交流研修の実施 [新規]

中南米4カ国の日系農業関係者を対象として、現地リーダーや我が国とのパートナーの育成等を図るための技術研修や交流を日本(一部現地)において実施します。

#### (2) 日系農業関係者の現地技術研修

中南米4カ国の日系農業関係者を対象として、専門家を現地に派遣し技術研修を実施します。

#### (3) 日系農業関係者とのビジネス交流の実施

中南米4カ国の日系農業関係者や集団移住地域を対象として、我が国の農業ビジネス関係者との交流を日本及び現地にて実施します。

委託費  
委託先：民間団体等

お問い合わせ先：  
大臣官房国際部海外投資・協力グループ(03-3502-5914)

# 中南米日系農業者連携交流委託事業

28年度概算決定額：50,221千円（27年度予算 40,824千円）

事業実施期間：平成25年度～平成29年度（5年間）

## 背景・現状

- 日本は、戦後、ブラジルを中心とする**農業移住を国策として推進**。
- 日系社会の世代交代などの環境変化により、日系農業者や農協組織の連帯感が低下。加えて**メジャー以外のビジネス機会の喪失を懸念**。
- 日本の農業・食産業分野における**高付加価値化の手法・技術に関心**。
- 干ばつなどの異常気象やエネルギー安全保障等を背景とするバイオ燃料の需要急増による**穀物価格高騰で我が国の食料安定供給の危機**。
- 我が国は、世界の食料安全保障の確立に向けて、**海外農業投資を促進**。

- 26年夏、**安倍総理が中南米諸国を訪問し、これら地域との協力深化の必要性を強調**。

- 26年秋、官邸は「**中南米経済・文化交流促進会議**」を立ち上げ、交流を推進。

- 26年12月、**第1回日伯農業・食料対話を開催**。（今後、原則年1回開催で合意）。

日・中南米農業関係者の連携強化の推進

## 現地

1. **日系農業者団体の連携強化**
  - 中南米日系農業者団体連携強化会議
2. **日系農業関係者の交流研修**
  - 農業技術向上研修
  - 日本人専門家の短期派遣研修
  - **農・食産業関係機関・団体の交流**

## 日本

1. **日系農業者団体の連携強化**
  - 有識者による事業推進委員会
2. **日系農業関係者の交流研修**
  - 中核リーダー育成交流研修
  - 女性部の地域活性化交流研修
  - **農業・食料の高付加価値化研修**

### 日本・中南米の農業ビジネスに関する交流

- 日系農業者団体幹部と日本農業関係団体との交流
- 日本・中南米間の農業ビジネスに関する交流セミナー

中南米日系農業関係者間の連携強化  
日本・中南米農業関係者の交流発展